

3月8日は 国際女性の日

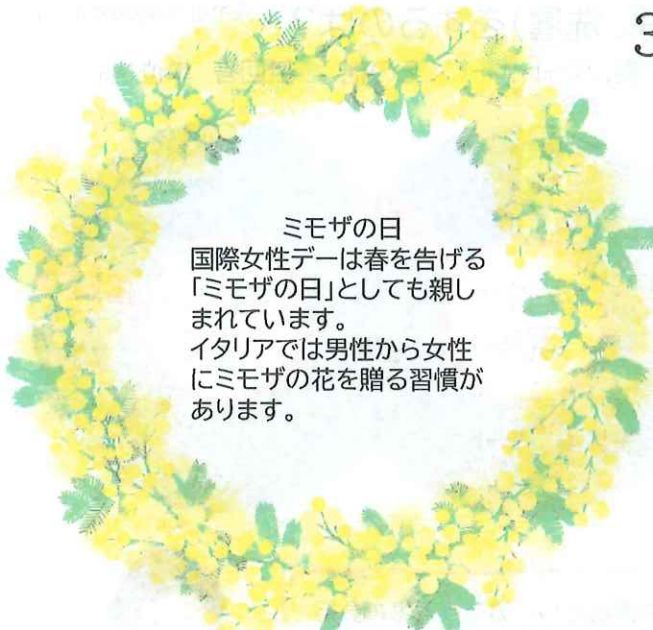
国際女性の日(3月8日)は、国連により1975年に提唱されました。(国連総会での議決は1977年)
女性たちが、平和と安全、開発における役割の拡大、組織やコミュニティにおける地位向上などによって、どこまでその可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う機会として設けた記念日です。

国際連合広報センター ウェブサイト 2014年のページから

2026年国際女性デー

「権利、正義。行動。すべての女性と少女のために。」

認定NPO法人国連ウイメン日本協会ウェブサイトより



ミモザの日
国際女性デーは春を告げる「ミモザの日」としても親しまれています。
イタリアでは男性から女性にミモザの花を贈る習慣があります。

女性活躍・ジェンダー平等へ 意思決定への参画や、男女共同参画社会へ

女性版骨太の方針2025(女性活躍・男女共同参画の重点方針2025)

女性版骨太の方針2025(女性活躍・男女共同参画の重点方針2025) 説明資料

(令和7年6月10日
すべての女性が輝く社会づくり本部
男女共同参画推進本部決定)

いつでも・どこにいても、誰もが自分らしく生きがいを持って生きられる社会の実現を目指す。多様な地域で多様な幸せを実現させ、活力ある日本を目指す。

I 女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり

女性が地方での生活を選択しない傾向が強まる中、固定的な性別役割分担意識の解消等を図り、女性を含めた誰もが安心して住み続けられる地方を構築することは待たなしの課題。
⇒全国各地における女性の起業支援、地域における魅力的な職場・学びの場づくり、地域における人材確保・育成及び体制づくり、地域における安心・安全の確保に取り組む。

II 全ての人が希望に応じて働くことができる環境づくり

各地の女性が、いかなるライフステージにあっても仕事を心得、自分らしく生きていくための礎として、女性への家事・育児・介護の負担の偏りを是正し、所得向上・経済的自立を図ることが必要。
⇒女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の強化、仕事と育児・介護の両立の支援、仕事と健康課題の両立の支援、職場等におけるハラスメントの防止に取り組む。

III あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大

女性の活躍は、多様性(ダイバーシティ)が尊重される社会を実現するとともに、我が国の経済社会にイノベーションをもたらす持続的な発展を確保する上でも不可欠な要素であり、あらゆる分野において一層の推進が必要。⇒企業における女性活躍、政治・行政分野における男女共同参画、科学技術・学術分野や国際的な分野における女性活躍の推進に取り組む。

IV 個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現

どこに住んでいても、個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保されることは、男女を問わず、人々が各地域で暮らしていくための基盤。
⇒配偶者等への暴力や性犯罪・性暴力への対策の強化、困難な問題を抱える女性への支援、男女共同参画の視点に立った防災・復興の推進、生涯にわたる健康への支援等に取り組む。

V 女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化

一方の性の視点のみに立脚するのではなく、男女別の影響やニーズを考慮することは、真に男女がともに利益を享受できる施策、製品・サービス等を生むことにつながり、社会における生きづらさをなくしていくことにつながる。⇒男女共同参画の視点に立った政府計画の策定等の推進、ジェンダー統計の充実、あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画に取り組む。

内閣府男女共同参画局ウェブサイトより抜粋

地域づくり

東京集中一地方創生
起業や人材確保など

働く環境

経済的自立や、介護
育児との両立支援

意思決定層

役員的女性割合30%
政治や行政、科学分野
への参加など

安心・安全

DV防止、性犯罪対策
の強化など

女性活躍

性差に配慮した施策
をあらゆる分野に…

豊中市では…

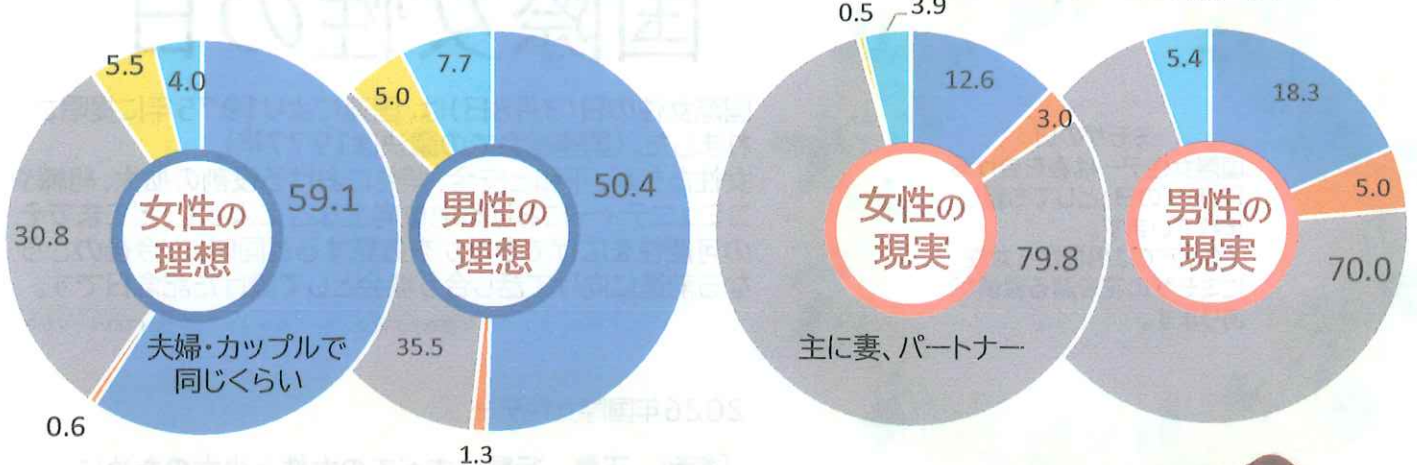
働きたい、という女性への支援や、起業したい女性の支援や出店体験の場の提供、女性に対する暴力防止など、「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」を中心に取り組んでいます。

女性活躍のために必要なことって…?

女性と男性がともに暮らしやすい豊中市をつくるためのアンケート結果報告書より

日常の家事(食事のしたく、掃除、洗濯)をするのは? 豊中市作成/2021年3月

■夫婦・カップルで同じくらい ■主に夫、パートナー ■主に妻、パートナー ■その他 ■無回答 単位:%



家事負担はわたしばかり…と
思ってるし、実際そうだけど
意外と気にはしてくれてる?
お互いに、忙しいもんね…



共働きだし、男だって家事負担
はやるべきだって思ってる…
頑張りたい気持ちはあるよ…
でも出来てない、ごめん

女性も男性も、分担が「理想」としてあるけれど、「現実」は妻に偏っている。

働き方の「令和モデル」を考える(内閣府男女共同参画白書令和5年版より)

特-79図 「令和モデル」の実現に向けて

「昭和モデル」

- ・いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る世帯を前提とした制度
- ・固定的な性別役割分担を前提とした長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行

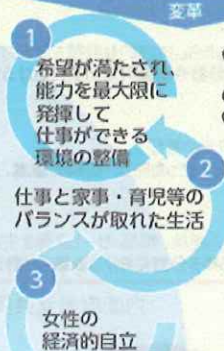


新しい生活様式・働き方

- ・若い世代を中心に、生活様式、働き方についての考え方が変化、多様化
- ・家族の姿の変化、人生の多様化
- ・単独世帯、ひとり親世帯、共働き世帯の増加

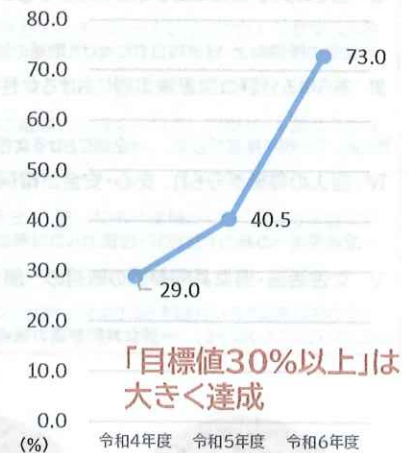
「令和モデル」

職業観・家庭観が大きく変化中、
全ての人希望に応じて、
家庭でも仕事でも活躍できる社会の実現へ



- 柔軟な働き方の浸透、勤務時間にかかわらず仕事の成果を評価され、昇進を目指すことができる環境の整備
- 指導的役割に占める女性を増やすための取組の加速
- 再就職の際、またはキャリアアップを目指す際に能力やスキルを向上できるよう、リスキリング等の機会の提供
- 長時間労働の是正
- 男性の育児休業取得の促進
- 職場での業務の見直し、効率的な業務配分
- 男女間賃金格差の是正
- 成長分野への円滑な労働移行
- 能力向上支援、デジタル人材の育成等
- 女性の就労の壁となっている制度・慣行の見直し
- 養育費を支払うのは当然であるという意識の定着

豊中市の男性職員の育児休業取得率



「目標値30%以上」は大きく達成

第3次豊中市男女共同参画計画 年次報告書より抜粋

令和男子は育休を取得したい!

取得希望

- 1ヶ月未満: 18.0%
- 1か月以上: 25.3%
- 3ヶ月以上: 14.4%
- 半年以上: 29.2%

取得実績

- 5日未満: 15.7%
- 2週間未満: 22.0%
- 1か月未満: 20.4%
- 3ヶ月未満: 28.0%

女性の取得実績(半年以上取得) 92.5%

男性育休取得の認知も広まっています。

どのような人員体制でも対応できる柔軟な組織基盤の形成や、従業員モチベーションアップ、企業イメージアップにもつながります。

3ヶ月以上取得希望が43.6% → 実績は86.1%が3ヶ月未満